

新規事業箇所調書

				調書作成年月日	平成20年 2月12日																				
				事業担当課	道路課																				
事業名	交通安全施設等整備事業 主要地方道 相馬巨理線	補助・単独の別	単独	事業主体	宮城県																				
施行地名	巨理郡山元町 ^{うしはし} 牛橋(1)			管理主体	宮城県																				
根拠法令	道路法																								
事業の概要	事業目的	<p>(主)相馬巨理線は、福島県相馬市を起点とし巨理町に至る主要幹線道路であり、仙南地域において国道6号を補完する重要な路線である。</p> <p>当工区周辺は、牛橋公園や牛橋区民会館などの公共施設があり、「落とし堀排水路」部分の歩道整備を行い、安全で円滑な歩行空間の確保を図る。</p>																							
	事業内容	<p>歩道整備 延長20m, 歩道幅員2.5m</p>																							
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>内用地費</td> <td>[%]</td> <td>[100 %]</td> <td>[%]</td> <td>() [%]</td> </tr> <tr> <td>0.6 億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>0.6 億円</td> <td>億円</td> </tr> </table>					全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他	内用地費	[%]	[100 %]	[%]	() [%]	0.6 億円	億円	億円	0.6 億円	億円
	全体事業費	費用負担内訳																							
国		県	市町村	その他																					
内用地費	[%]	[100 %]	[%]	() [%]																					
0.6 億円	億円	億円	0.6 億円	億円																					
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業期間</td> <td colspan="3">平成20年度～平成23年度(4年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 - 年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成22年度</td> </tr> </table>					事業期間	平成20年度～平成23年度(4年間)			用地買収着手予定年度	平成 - 年度	工事着手予定年度	平成22年度												
事業期間	平成20年度～平成23年度(4年間)																								
用地買収着手予定年度	平成 - 年度	工事着手予定年度	平成22年度																						
	施設管理の予定	<p>道路管理者である宮城県が維持管理を行う。</p>																							

事業の必要性	上位計画等	土木行政推進計画（宮城県土木部）
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>社会経済情勢 主要地方道相馬亘理線は、福島県相馬市と本県亘理町を結ぶ現況交通量4,954台/12hの主要幹線道路であり、仙南地域において国道6号を補完するとともに、連携・交流促進に重要な路線である。</p> <p>また、当地区周辺においては2件/H13～H17の交通事故が発生しており、さらに周辺地域においても、国営附帯県営かんがい排水事業が計画されており、「落とし堀排水路」についても改修が計画されており、同事業と一体となった歩道整備が求められている。</p> <p>地元情勢、地元の意見 山元町、宮城県町村会から歩道設置に対する強い要望がある。</p>
事業の有効性	事業効果	<p>想定される事業効果</p> <p>牛橋公園，牛橋区民会館など公共施設への安全な歩行空間が確保される。</p>
事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等	国営附帯県営かんがい排水事業「牛橋」……県道部は平成22～23年度を予定
	代替案との比較検討	自動車交通量，自転車・歩行者交通量から歩道幅員は2.5mとして計画を行う。道路沿線の土地利用状況，既設歩道との連続性から，「落とし堀排水路」部分については両側歩道として計画を行う。
	コスト縮減計画	<p>工事期間中の県道迂回路に使用する盛土材料については，他工区からの流用土の活用を検討し，コスト縮減を図る。</p> <p>路盤・舗装材料については，リサイクル材を使用しコスト縮減を図る。</p>
	費用対効果	事業効果を数値化することが困難であり，費用対効果は算出していない。

環境への影響と対策	地域指定状況等									
		特になし								
環境への影響と対策	影響と対策									
		自然環境，景観に配慮し，地形改変を極力抑えた設計を行う。								
総合評価	事業箇所評価結果									
		<table border="1"> <tr> <td>評点による順位</td> <td>予算化された箇所数</td> <td rowspan="2">評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">交通安全施設事業(新規事業箇所)</td> </tr> <tr> <td>1位 / 4</td> <td>4箇所</td> <td></td> </tr> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	交通安全施設事業(新規事業箇所)		1位 / 4	4箇所	
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)							
	交通安全施設事業(新規事業箇所)									
1位 / 4	4箇所									
総合評価	対応方針									
		事業実施								

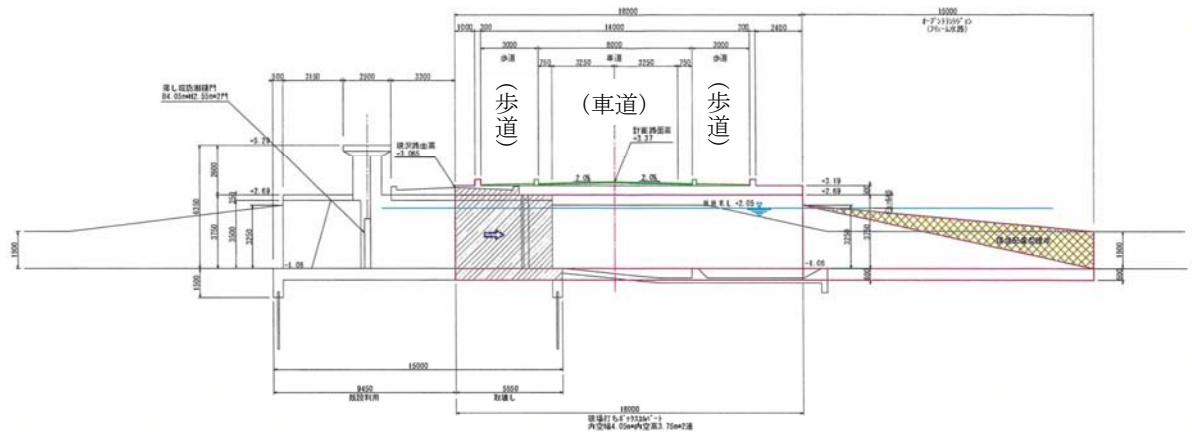
主要地方道 相馬亙理線 牛橋(1)交通安全施設整備事業

位置図



主要地方道 相馬亙理線 牛橋(1)交通安全施設整備事業

標準横断面



現況写真

